

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	きりしま保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成23年12月 7日

総 評	<p>J R長岡京駅から徒歩10分ほどの閑静な地域に位置しています。保育園の門をくぐり中に入ると、登園した子どもたちが次々に園庭に駆け出し、とても元気に遊んでいます。</p> <p>園内には、季節感のある装飾や子どもたちの描いた絵が飾られています。異年齢保育や子ども自身が1歳児の時に作った自分の人形を大切に持つなどの活動を通して、保育理念「ひとりひとりを大切にしていく。」「受容することから始め、日々の子どものとの関わりを大切に保育していく。」「日常保育を通して乳幼児における子どもの基礎的な力をつけていく。」を実践しています。</p> <p>園長はリーダーシップを発揮し、保育を細やかに指導しています。子ども主体の保育と地域とのつながりを大切にしている保育園です。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経験豊かな保育士 幼児クラスでは、異年齢保育・思いやりや優しさをはぐくむ保育がなされています。乳児クラスでは、担当制が取り入れられており、保育士の温かい言葉がけにより、落ち着いて過ごしている様子があります。 ・ 異年齢保育 3歳、4歳、5歳の異年齢保育を行っています。月に2～3回は年齢別保育も行い、クラス編成に工夫が見られます。 ・ 地域との連携 子育てサポートセンター「陽だまり」、バザー、育児教室や相談など地域に根ざした活動があります。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ アレルギー対応 食物アレルギーを持つ児童への対応として、食事メニューは、除去食・保護者持参となっています。栄養士の専門性を生かして、代替食にも対応すると良いでしょう。 ・ 苦情解決 第三者委員の設置し、氏名、連絡の取り方を掲示し、公表されると良いでしょう。 ・ 安全事故防止 事故や火災等の発生時における対応方法を職員間で検討し、共有されると良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	きりしま保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成23年12月3日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	C	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	C	A

[自由記述欄]

・保育理念・園目標は、園のパンフレットやホームページに明文化され、公開されています。保育園の特徴が理解しやすい内容で、職員に対しては会議等で説明し、周知を図っています。利用者に対しては園だより、クラス懇談を通じて、周知を図っています。

・保育課程は、保育目標「元気な子ども、意欲的な子ども、自分を表現できる子ども、思いやりのある子ども」に基づいて編成されています。指導計画は、保育課程に基づき、子どもが大切にされるよう細やかに作成されています。地域の実態に応じた活動として、530（ゴミゼロ）運動や敬老の集いがあります。保育課程、指導計画は定期的に評価や見直しがされています。

・職員会議には、全体会議、幼児部会、乳児部会があり、会議を通して、指導計画の検討・評価・反省・見直しが行われ、子どもの姿に合わせた計画が立てられています。行事の後には、利用者アンケートを行い、内容の評価・見直しをする機会があります。園だよりや学期毎に発行するクラス便り、保護者へクラスや子どもの様子を伝えています。

・管理者は、組織分担当等で各職員の役割を明確にし、施設長研修に参加し、法令理解に努めています。

・園長を始め、管理者は園内の会議等で多くの指導や助言、情報発信を行い、また保護者会と会合するなど、積極的にリーダーシップを発揮しています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	C	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	C	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	C	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	B
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	A		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	B		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	C	A	

[自由記述欄]

・一時預かり事業、長岡京市の行事（530運動）、地域の方々の依頼行事（敬老の集いなど）があり、保育園を取り巻く環境の変化に適切に対応しています。

・理念の「ひとりひとりの子を大切にしてい」「まず受容することから始め、日々子どもとの関わりを大切に保育していく」の中に、必要な人材に関する考え方が伺えます。

・管理者は、リーダーシップのもと、職員と年3回個別面談を行い、労務管理を始め、職員が相談しやすいような職場環境作りに努めています。

・研修予定表に基づき、年間一人一回を目安として、研修に参加するようにしています。また、園内研修（職員同士でピアノを引き合ったり、保護者の方の協力による絵画研修、楽器研修）を行っています。研修終了後には、研修レポートが作成され、研修内容の共有化に努めています。職員ひとりひとりについて、基本姿勢に沿った個別の研修計画を作成すると良いでしょう。

・短期大学や大学等の保育士養成校からの実習生を積極的に受け入れています。オリエンテーションを実施し、実習計画を立てています。共通理解を図るために、実習生の受け入れに関して、方針等を明文化されると良いでしょう。

・小学校や中学生の体験学習などを積極的に受け入れています。530運動、敬老の集い、バザー、育児教室、育児相談を実施するなど、地域との関わりを大切にしています。

・地域の関係機関や病院等の緊急連絡先などについて、会議など職員間での情報の共有化が図られています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	C	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	C	B
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	C	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	C	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	C	A

[自由記述欄]

・プライバシー、苦情対応に関する規程を整備しています。行事後のアンケートや年3回のクラス懇談を実施し、利用者の意見については会議で検討され、適切に対応しています。第三者委員の設置、公表をされると良いでしょう。

・今回が始めての第三者評価です。これを機に保育の質の向上、事業内容の改善に職員が協力して取り組む姿勢があります。乳児部会や幼児部会で自己評価を実施し、改善に向けた取り組みがあります。

・健康カード等で子どもの身体状況や生活状況の把握に努めています。幼児部会・乳児部会、朝の会議等で子どもに関しての課題や対応の報告、検討がされています。また、保育に関する連絡事項は、ノートに記録され、職員間での情報の共有化が図られています。子どもに関する記録の管理体制も整っています。

・ホームページを開設しています。一時預かり、育児相談（月1回程度）や育児教室（月1～2回程度）等を通じて、子どもを持つ親を対象に施設を開放し、希望者には保育園の情報を適宜提供しています。保育園見学も随時受け付け対応しています。また、地域の方々を対象とした「きりしまの集い」（年1回、11月の土曜日に開催）は市の広報誌に掲載されています。

・保育の利用にあたり、園のしおりを用いて入園説明会を実施し、個別面接も行っています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	B	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	B	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	B	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	B	B
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	B	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	B	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	A

[自由記述欄]

・子どもの健康管理についてはマニュアルが整備されています。お便りで保護者に情報を発信し、健康管理・子どもの体調に配慮した保育を行っています。

・食事面では、子どもが栽培したきゅうりや大根など、畑で収穫された野菜を取り入れたメニューがあり、工夫をしています。また、子どもの発達に応じた食事のマナーの習得、配膳や後片付けへの参加などが行われています。

・食物アレルギーの子どもの給食について、除去食の対応は出ています。代替食に対応するなど、他の子どもたちとの相違に配慮するとさらに良いでしょう。

・保育室は、木の実のリースなどの季節を感じることでできる装飾がなされ、どのクラスも子どもが落ち着いて過ごせるよう配慮されています。幼児クラスでは、曜日により異年齢保育が行われ、思いやりや優しさをはぐくむ保育がなされています。また、子どもたちがそれぞれの思いで、自由に遊ぶことが出来る時間が十分に確保されています。乳児クラスでは、担当制が取り入れられており、保育士の温かい言葉がけにより、安心して過ごしている様子がありました。今後は、長時間保育の指導計画について検討されると良いでしょう。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	B	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

・連絡帳や登降園ノートを用いて日々の情報交換を行い、個別懇談やクラス懇談、保護者の保育参加（リース作りなど）により、保護者と共通理解を得るための機会を積極的に設けています。また、連絡ノートは独自のものを取り入れるなど日々、子どもたちの様子を保護者へ伝えるように配慮されています。

・子どもの発達記録・個人記録は、園長・主任保育士の指導のもとで記録整備もされています。

・虐待に関しては、早期発見、早期対応を図り、関係諸機関との連携も取れています。

・一時保育では、一人ひとりの生活に合わせた保育が提供されており、散歩やお誕生会に参加するなど保育園行事へ参加し、保育内容に工夫が見られます。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	C	B
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	C	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	B
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	C	B
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	C	B

[自由記述欄]

・衛生管理や食中毒に関するマニュアルを整備しています。園舎内は清潔に保たれていますが、衛生面から手洗いタオルは、個別のものを用いるなどタオルの共有を避けると良いでしょう。

・毎月、遊具等の安全点検を行い、子どもの安全に対する取り組みがなされています。ヒヤリハットやチェックリストなど安全予防対策の記録を作ると良いでしょう。

・避難訓練も定期的に行われ職員間の連携も取れています。朝に職員が一人ひとりの子どもに挨拶し受け入れるなど、不審者侵入やもしもの時の人数把握などに対応されると良いでしょう。